

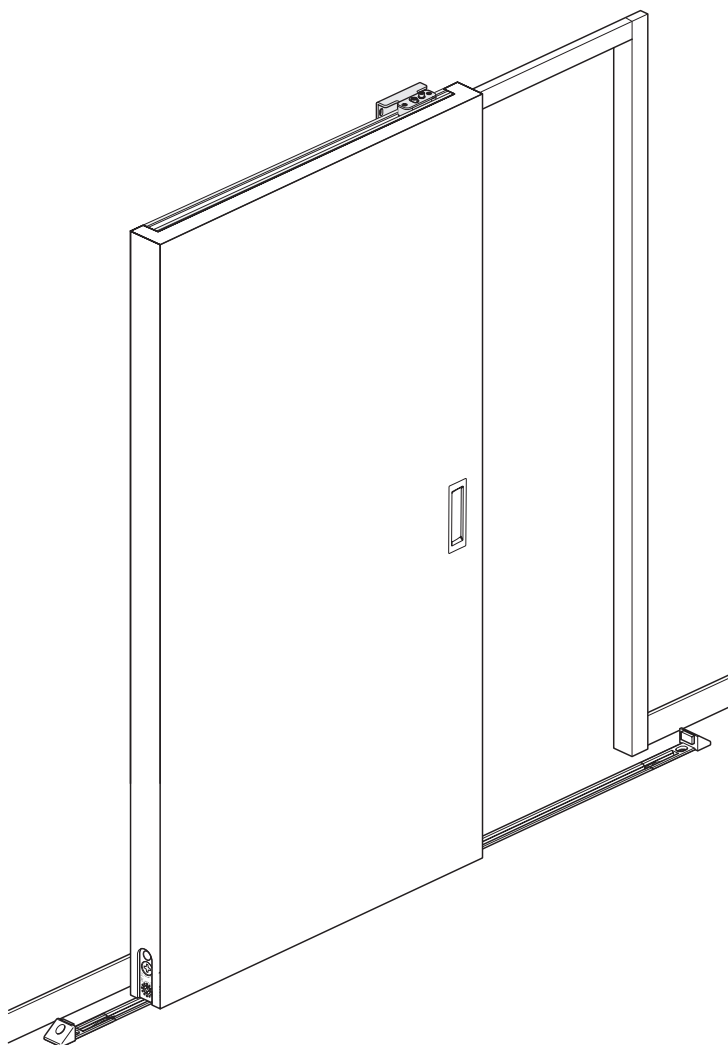
miratap

建具

ノッポ アウトセット引戸 床レールタイプ

組立設置説明書 04-NOP06S-07

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。

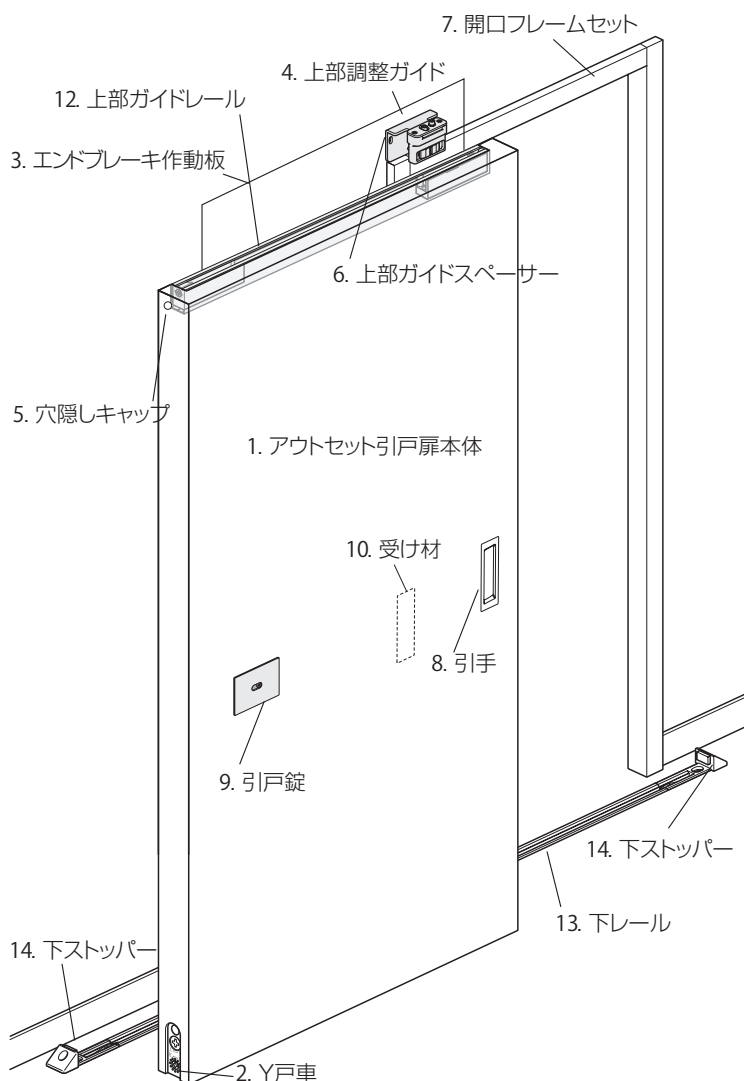


扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図



《扉》

番号	名称	数量
1	アウトセット引戸扉本体	1
2	Y戸車 (扉に取り付け済み)	扉1枚につき 2
3	エンドブレーキ作動板 取付ビス／ ドリルねじ $\phi 4 \times 19$: 2本	扉1枚につき 2
4	上部調整ガイド 取付ビス／ なべタッピンねじ $\phi 4.0 \times 50$: 3本	1set
5	穴隠しキャップ	2
6	上部ガイドスペーサー (枠有の場合のみ使用)	1

《枠》

番号	名称	数量
7	開口フレームセット ※フレームなしタイプの場合は付属していません。	縦用 2 横用 1

《引手》

番号	名称	数量
8	引手 (枠有錠付きタイプの場合は、引手付錠)	扉1枚につき1組

《錠》

番号	名称	数量
9	引戸錠 (枠無・錠付の場合)	1
10	受け材 $7.5 \times 35 \times 50$ (枠無・錠付の場合)	1
11	受け材木口シール 7×35	1枚 (2pcs)

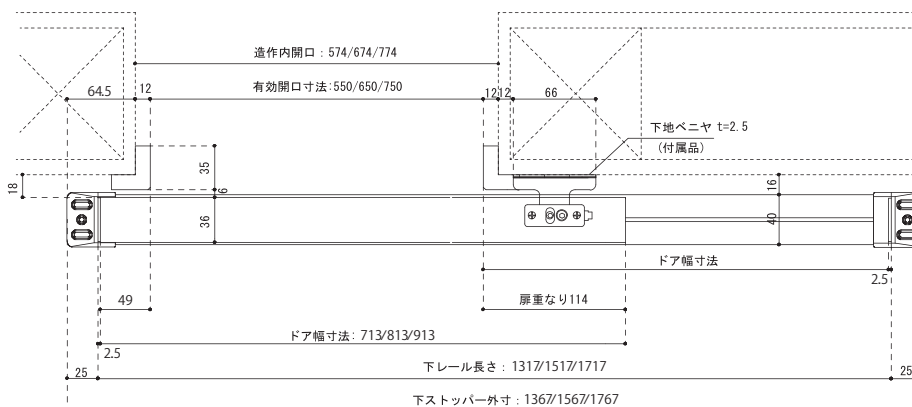
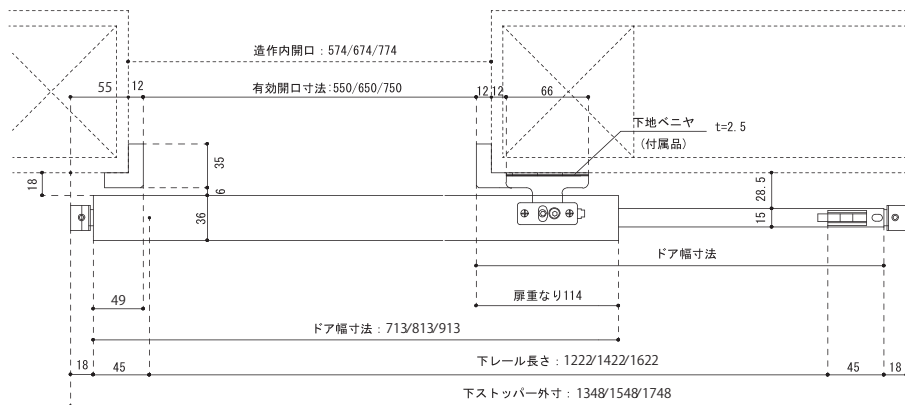
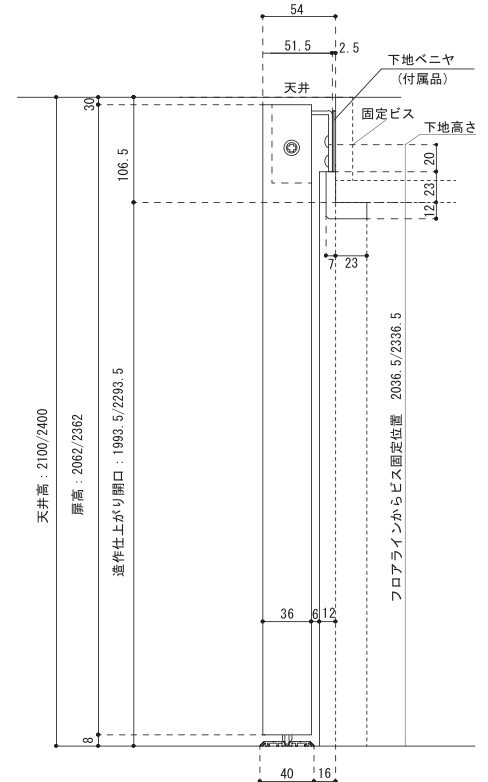
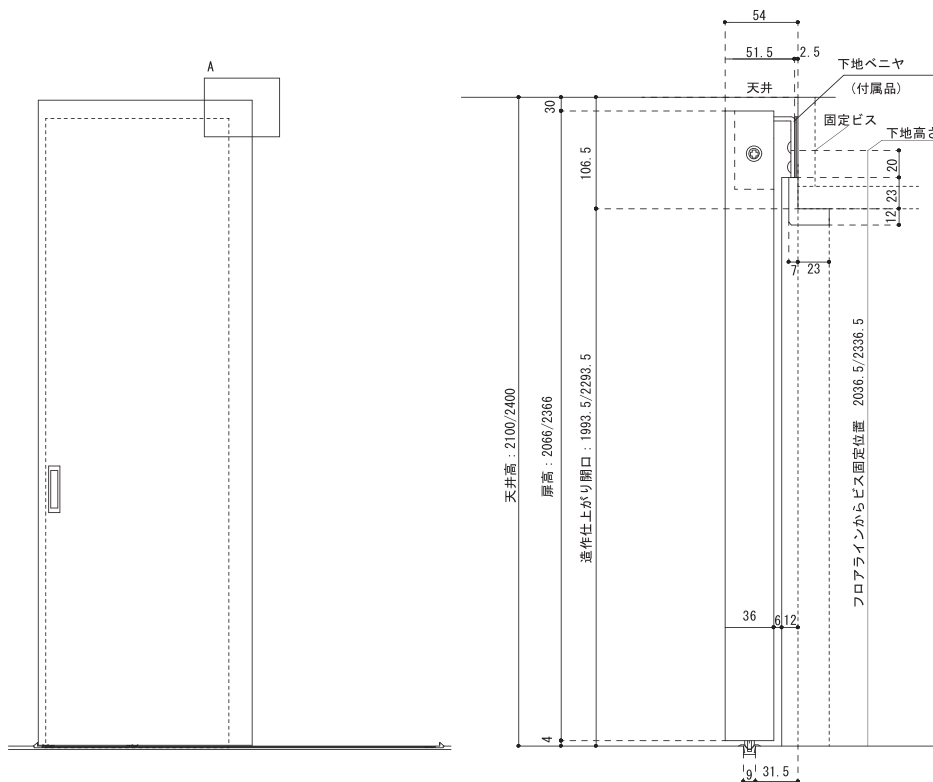
《レールセット》

番号	名称	数量
12	上部ガイドレール 皿タッピン $\phi 3.5 \times 25$: 4本 (部品箱)	扉1枚につき 1set
13	下レール 取付ビス/皿 $\phi 3.5 \times 16$: 14本 (直付用) 【埋込用】	1
14	下ストッパー 取付ビス／なべタッピン $\phi 3.5 \times 20$: 4本 (埋込用) 取付ビス／なべタッピン $\phi 3.5 \times 20$: 6本 (直付用)	2

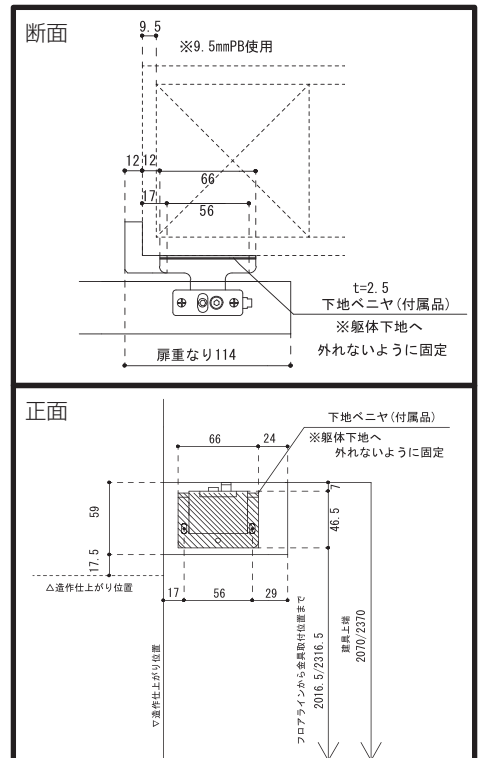
《その他》

番号	名称	数量
15	組立設置説明書・取扱説明書 (必ずお施主様にお渡しください)	各1

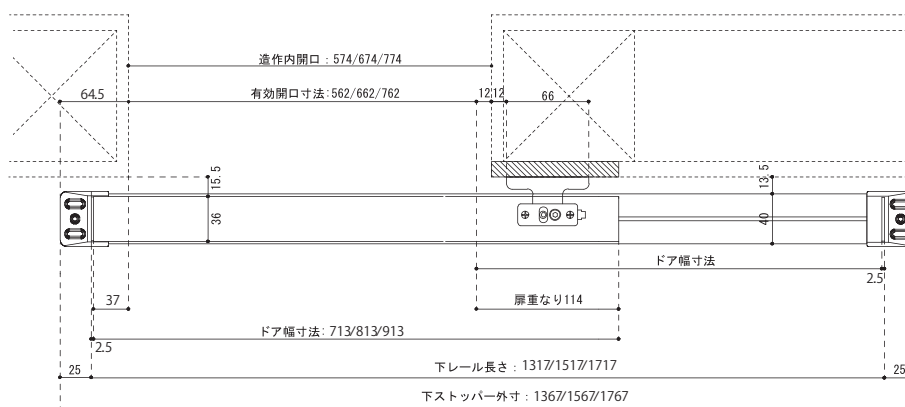
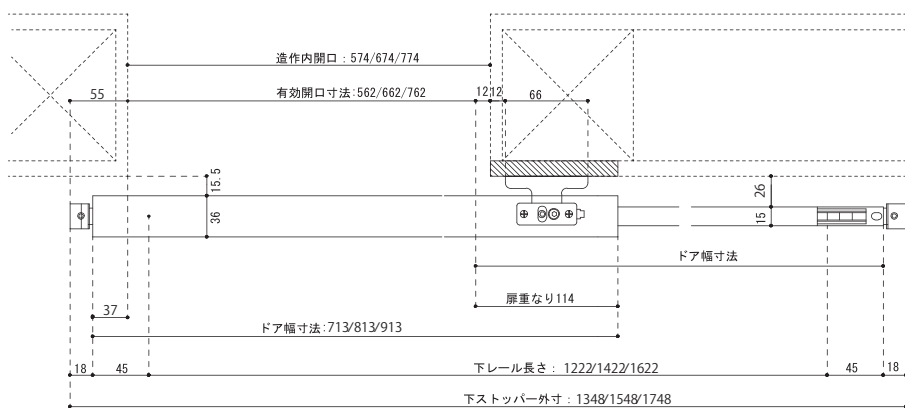
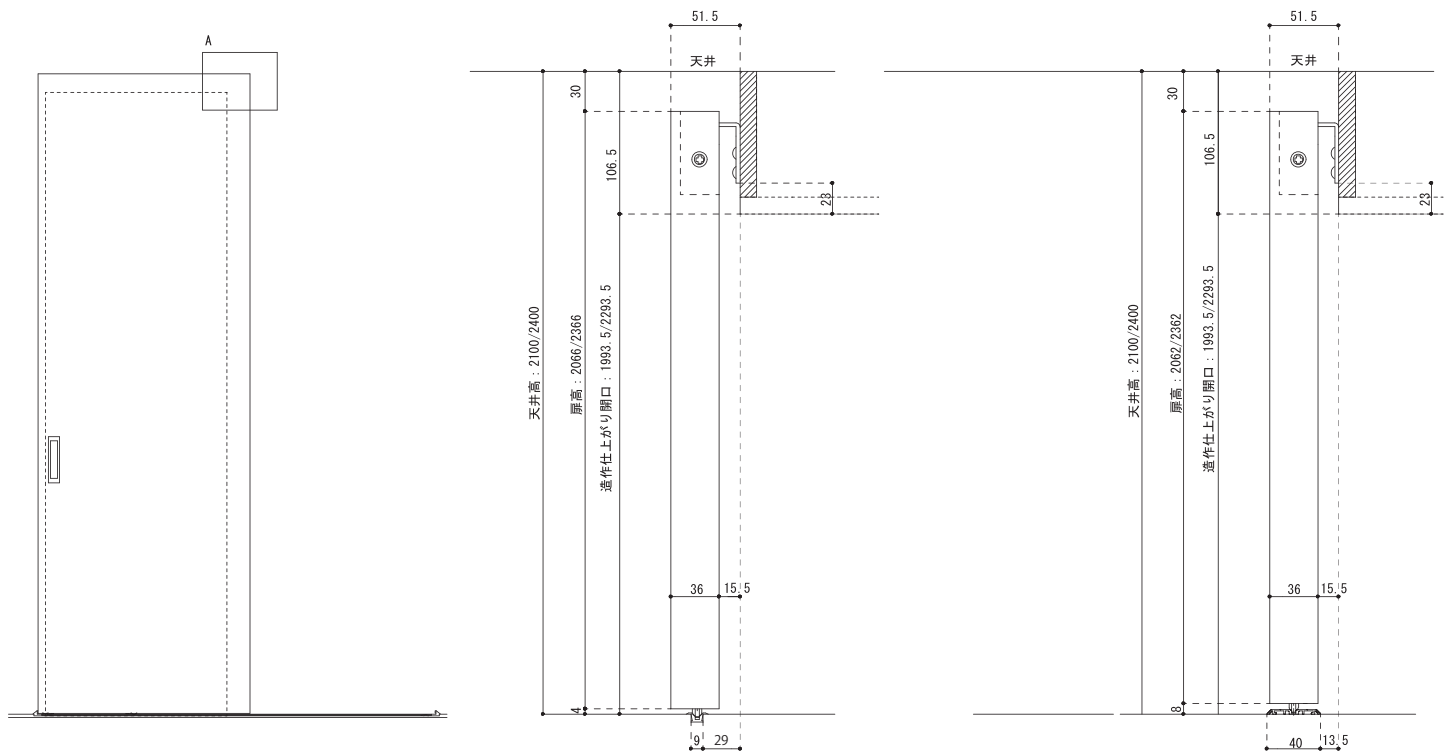
2 寸法図 開口フレーム(有)



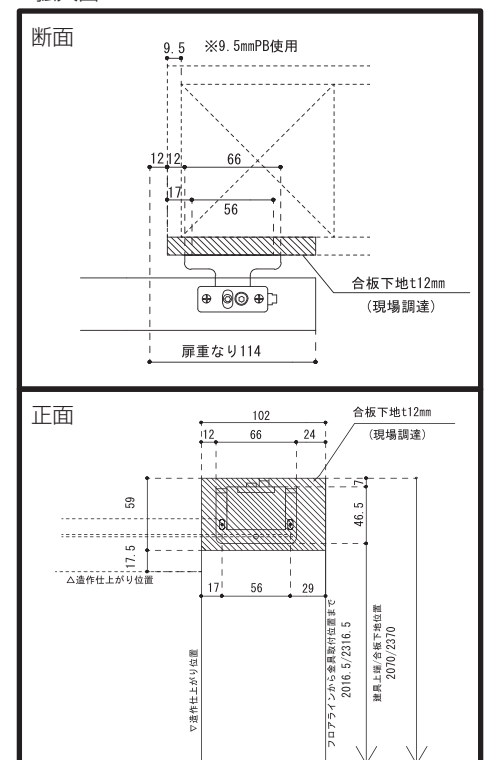
A 拡大図



3 寸法図 開口フレーム(無)



A 拡大図



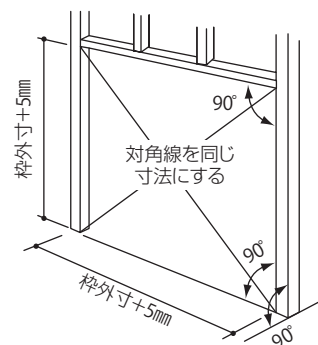
4 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

梁が弱いと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。

- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺が必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平がでない場合、下記の原因となります。

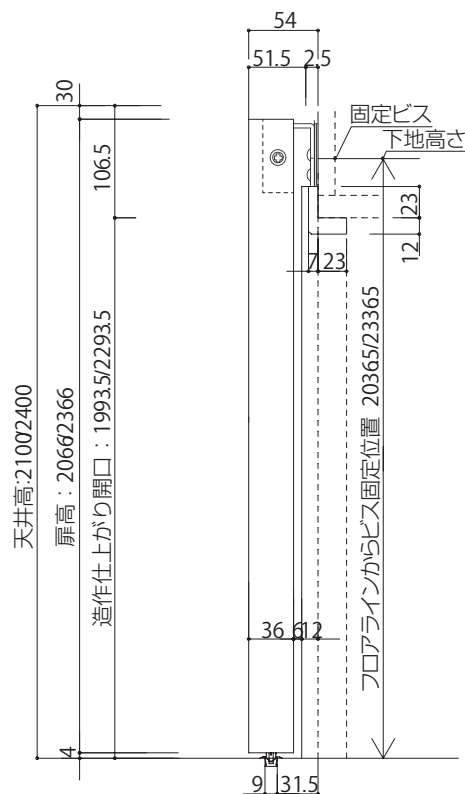
図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。



5 施工手順・埋込レール仕様

《1. 開口部の下地確認》

- ①開口上部（上部調整ガイド固定ビス位置）に下地があるかを確認ください。無い場合は、補強材（現場調達）を入れてください。
※下地がないところへ取付けた場合、扉の脱落の原因となります。
- ②開口上部の仕上材が合板又は石膏ボードであるかを確認ください。
※土壁等の場合、ビス固定できません。
※壁の下地位置は **2 3** の寸法図でご確認ください。
- ③開口下部の仕上材が木質フロアであるかを確認ください。
※カーペット等には取付できません。
※クッション性のあるフロア（防音用フロア等）の場合は、下レール下部フロアのクッション材は取り除き合板等を入れてください。
- ④開口下部の下地が木質下地であるかを確認ください。
※木質以外及び木質下地のないところには取付できません。

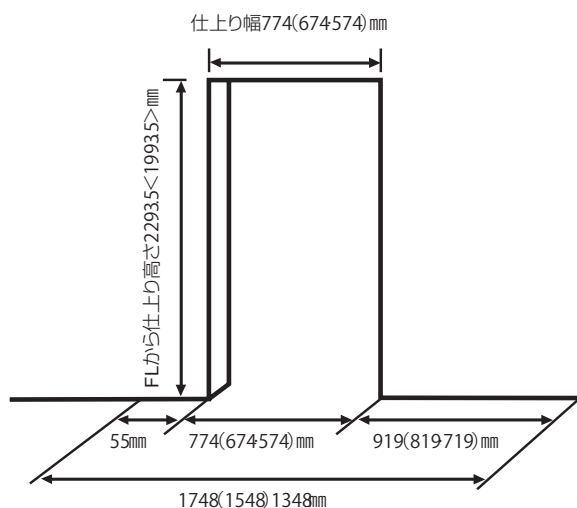


《2. 開口部の寸法確認》

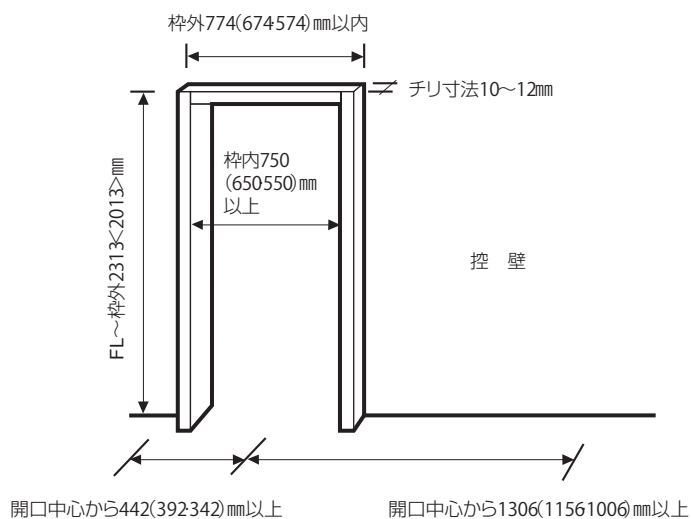
図は913幅タイプです。（ ）寸法は813・713幅、< >寸法は2100高です。

※開口部フレームなしタイプもございます。

- 開口フレームセット使用の場合（取付前の仕上がり寸法）

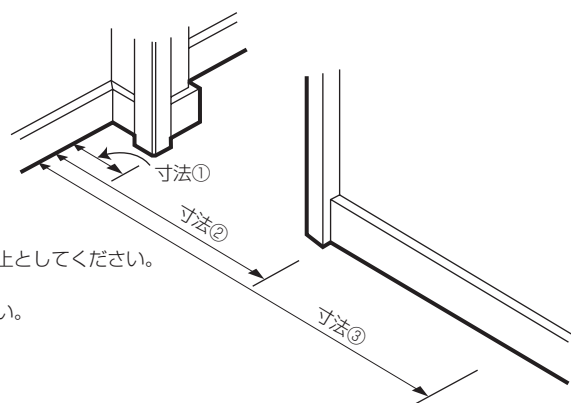


- 既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合



- 入隅の場合（開口フレーム取付後の仕上がり寸法）
開口中心から442(392/342) mmに満たない場合

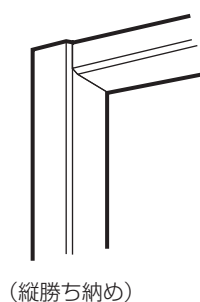
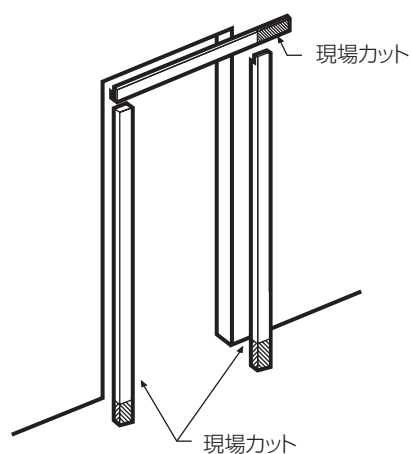
▽寸法①は開口フレームあり：67mm、なし：55mm以上としてください。
・寸法②は847（747・647）mm以下としてください。
・寸法③は1748（1548・1348mm）以下としてください。



《3. 開口フレームセット取付》

既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合は不要。

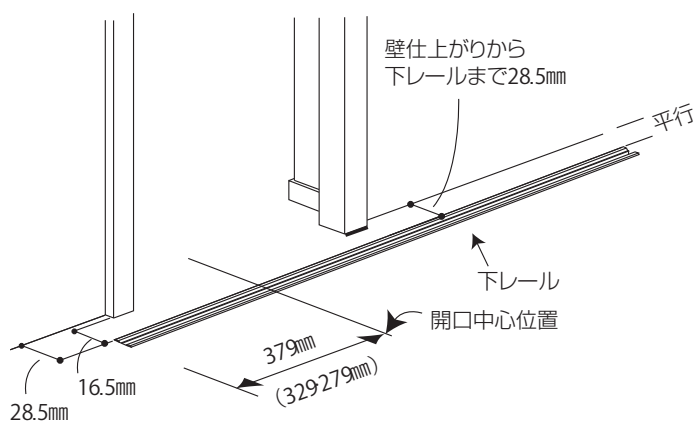
縦用・横用ともに、現場に合わせて直角にカットして取り付けてください。



《4. 下レール位置出し》

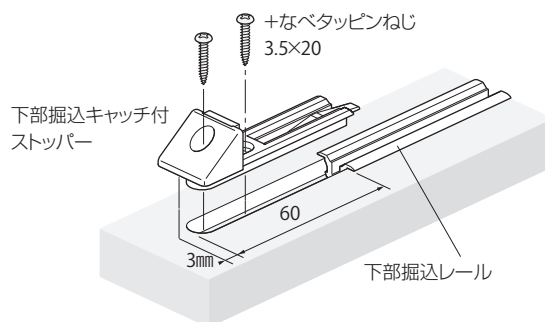
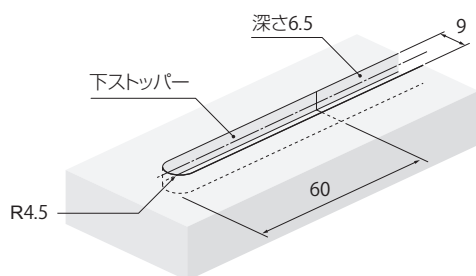
下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。扉を開いた時と閉じた時、どちらの場合も扉の下はストッパーに、上は上部ガイドがストッパーに同時に当たるようにしてください。

図は913幅タイプの場合。() 寸法は813・713幅タイプの場合です。



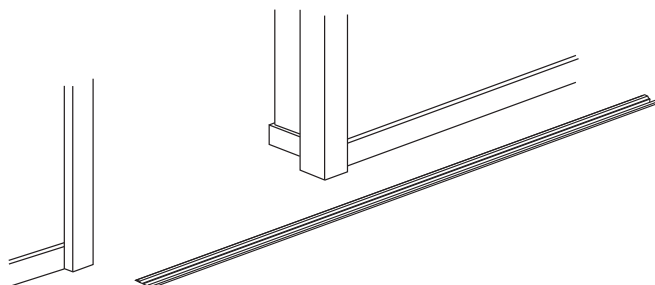
《5. 床/敷居の加工寸法参考図》

※掘込溝の位置は下部戸車のセンター位置・戸の開閉位置を考慮して決定してください。



《6. 下レール取付》

※下レールは壁面と平行に固定してください。平行でない場合、扉の脱落の原因となります。

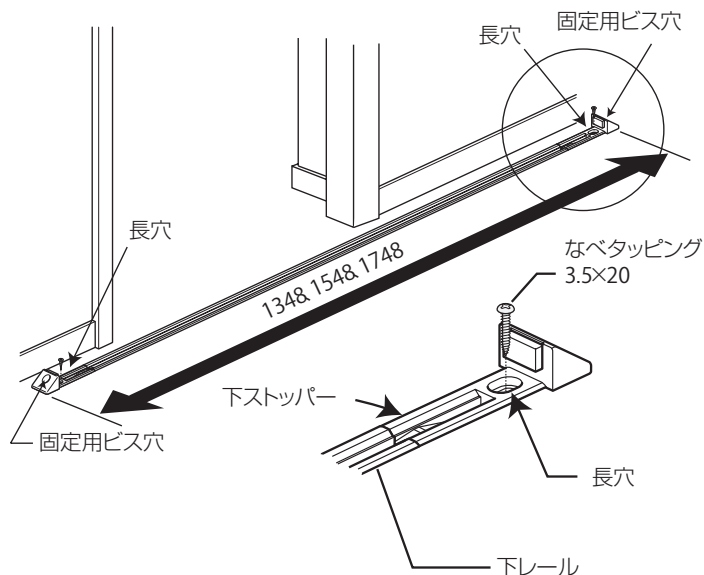


《7. 下ストッパー仮固定》

※下レールは壁面と平行に固定してください。平行でない場合、扉の脱落の原因となります。

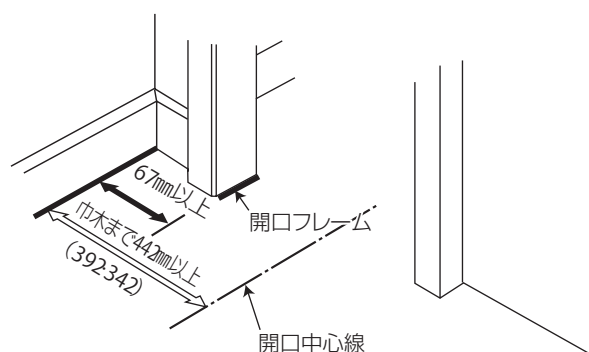
- ①下ストッパーと下レールに隙間ができないように設置します。
- ②長穴の中心を専用ビス（同梱品）で締め付けて仮固定してください。

※固定用ビス穴はストッパー位置調整後に締めつけますので、それまでビスをうたないでください（ビスで固定してしまうと調整が困難になります）。

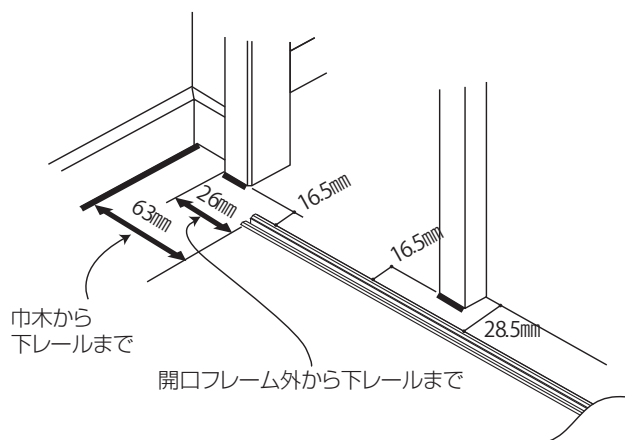


《8. 入隅部の下レール位置出し・取り付け・下ストッパー仮固定》

①開口フレームより67mm以下には取付できません。
入隅側の巾木から開口枠内側までの寸法を確認してください。

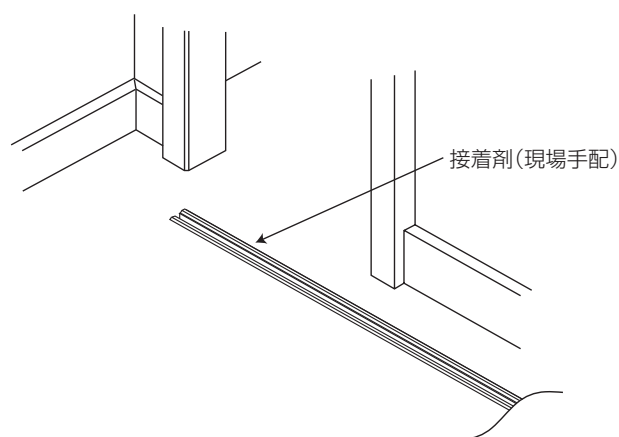


②下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。



③下レールを接着剤（現場手配）で固定してください。

※下レールは壁面と平行に固定してください。
平行でない場合、扉の脱落の原因となります。



6 施工手順・直付レール仕様

《1. 開口部の下地確認》

①開口上部（上部調整ガイド固定ビス位置）に下地があるかご確認ください。無い場合は、補強材（現場調達）を入れてください。
※下地がないところへ取付けた場合、扉の脱落の原因となります。

②開口上部の仕上材が合板又は石膏ボードであるかご確認ください。

※土壁等の場合、ビス固定できません。

※壁の下地位置は **2 3** の寸法図でご確認ください。

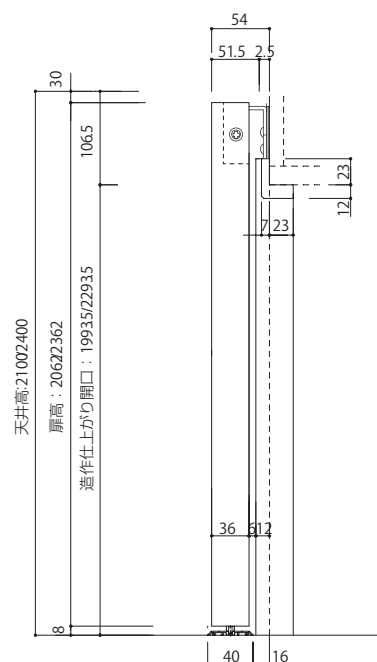
③開口下部の仕上材が木質フロアであるかご確認ください。

※カーペット等には取付できません。

※クッション性のあるフロア（防音用フロア等）の場合は、
下レール下部フロアのクッション材は取り除き合板等を入れてください。

④開口下部の下地が木質下地であるかご確認ください。

※木質以外及び木質下地のないところには取付できません。

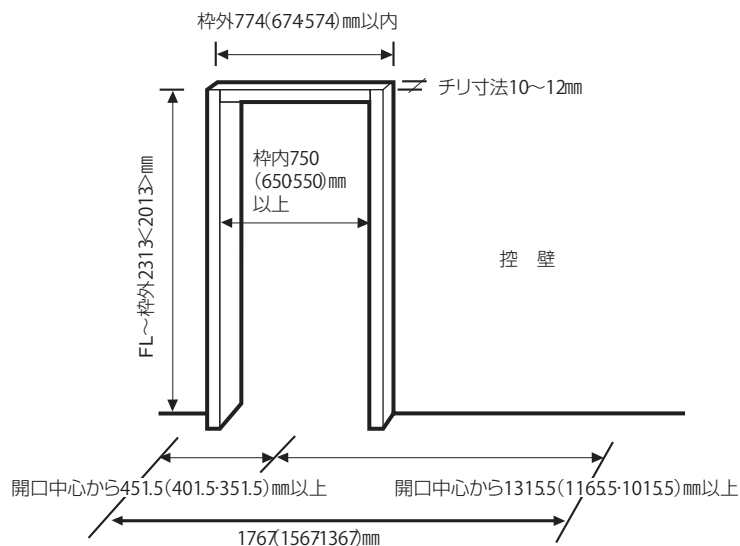
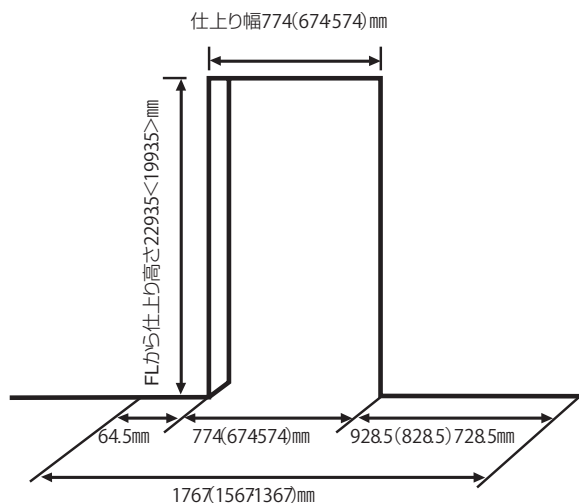


《2. 開口部の寸法確認》

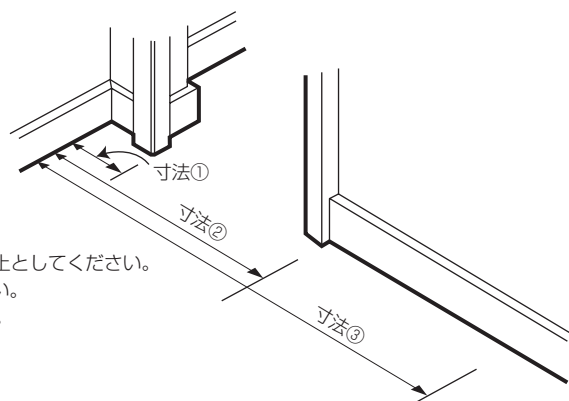
図は913幅タイプです。 () 寸法は813・713幅、< >寸法は2100高です。

※開口部フレームなしタイプもございますが、表示錠を決定する場合は、枠または見切材を必ず使用してください。

- 開口フレームセット使用の場合（出隅取付前の仕上がり寸法） ●既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合



- 入隅の場合（開口フレーム取付後の仕上がり寸法）

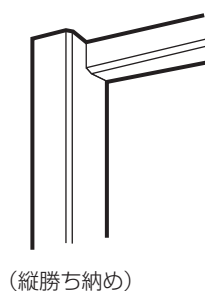
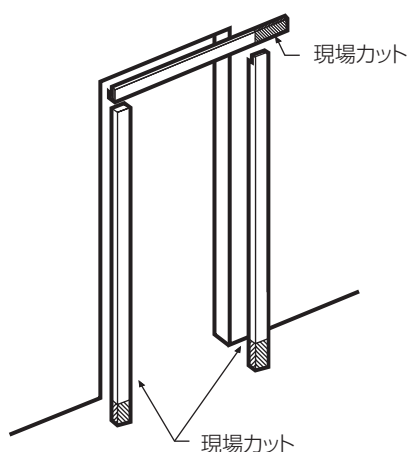


・ 寸法①は開口フレームあり:76.5mm、なし:64.5mm以上としてください。
 ・ 寸法②は856.5 (756.5・656.5) mm以下としてください。
 ・ 寸法③は1767 (1567・1367) mm以下としてください。

《3. 開口フレームセット取付》

既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合は不要。

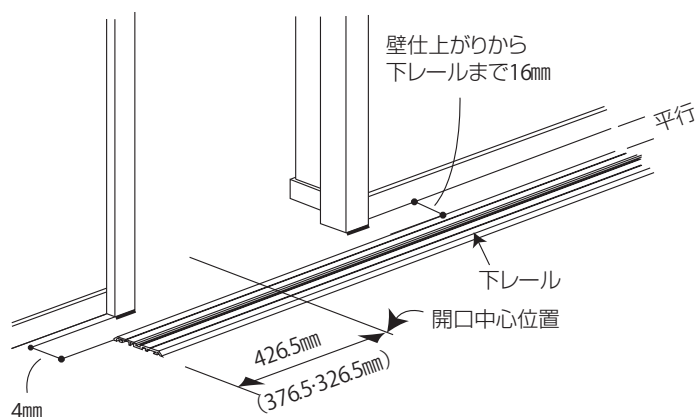
縦用・横用ともに、現場に合わせて直角にカットして取り付けてください。



《4. 下レール位置出し》

※入隅の場合は7以降の手順で行ってください。
下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。扉を開いた時と閉じた時、どちらの場合も扉の下はストッパーに、上は上部ガイドがストッパーに同時に当たるようにしてください。

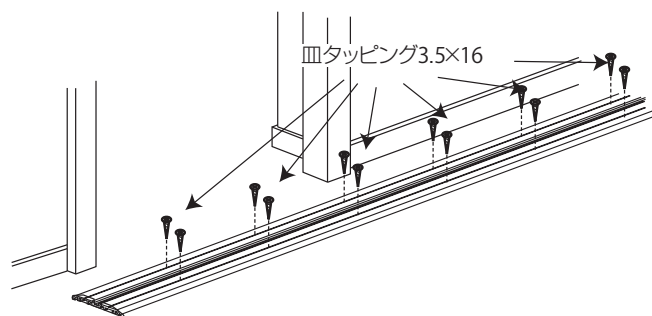
図は913幅タイプの場合。() 寸法は813・713幅タイプの場合です。



《5. 下レール取付》

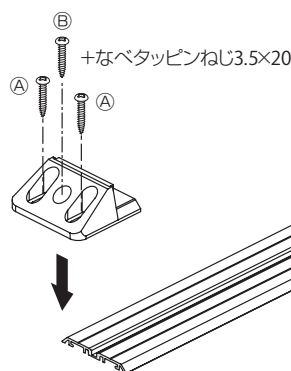
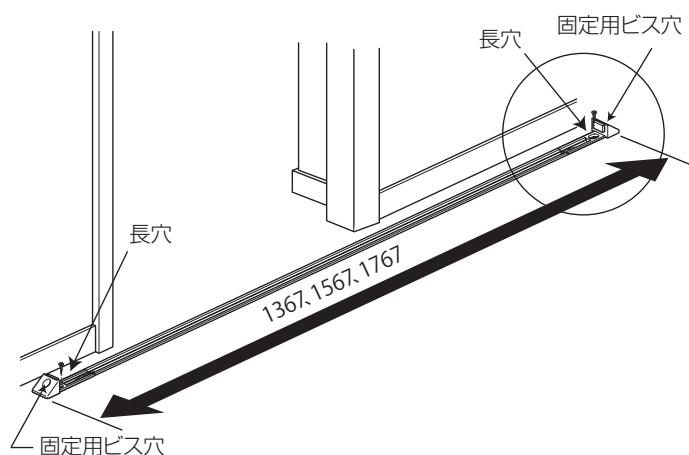
下レールを専用ビス（同梱品）で固定してください。

※下レールは壁面と平行に固定してください。平行でない場合、扉の脱落の原因となります。ビスは戸車溝の両側に付属ビスで固定してください。



《6. 下ストッパー仮固定》

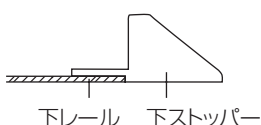
※下レールは壁面と平行に固定してください。平行でない場合、扉の脱落の原因となります。



●下部ストッパーの取付

戸を閉じきった状態で戸先側に長穴①で仮固定します。
ストッパーの位置が決まったら丸穴②で本固定します。
同様に戸を開ききった状態で、戸尻側にも取り付けてください。

①下レールに下ストッパーがかぶるように置きます。

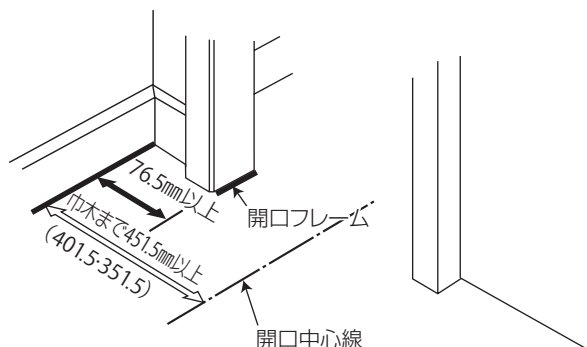


②長穴の中心を専用ビス（同梱品）で締め付けて仮固定してください。

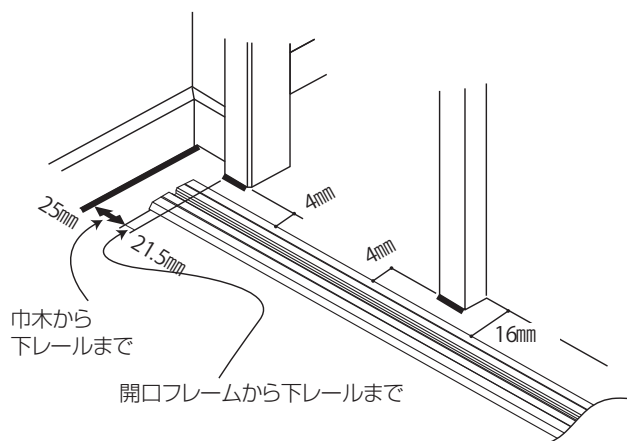
※固定用ビス穴はストッパー位置調整後に締めつけますので、それまでビスをうたないでください（ビスで固定してしまうと調整が困難になります）。

《7. 入隅部の下レール位置出し・取り付け・下ストッパー仮固定》

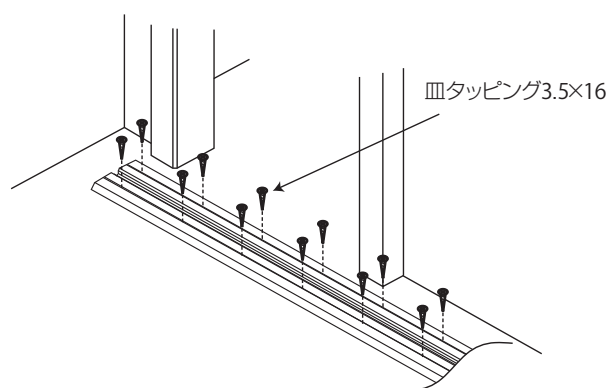
①開口フレームより76.5mm以下には取付できません。
入隅側の巾木から開口枠内側までの寸法を確認してください。



②下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。



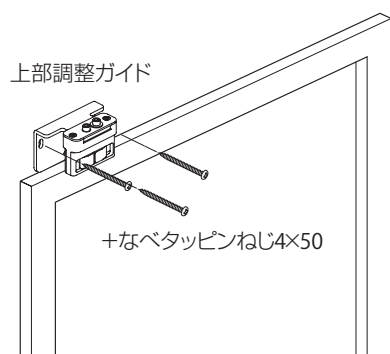
③下レールを専用ビス（同梱品）で固定してください。
※下レールは壁面と平行に固定してください。
平行でない場合、扉の脱落の原因となります。



7 施工ガイド

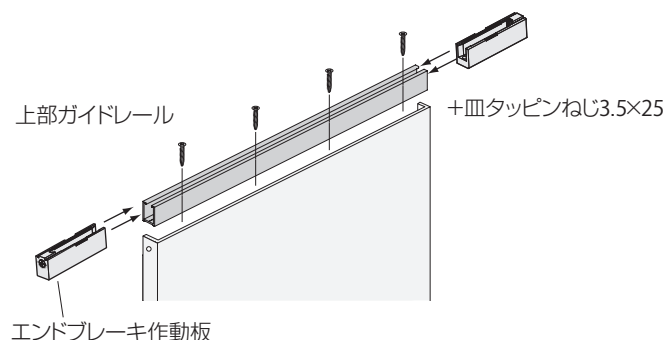
《金具の位置決め・取付》

●上部調整ガイドの取り付け
戸の高さ位置・戸の開閉位置を考慮して上部調整ガイドを取り付けます。



●上部ガイドレールとエンドブレーキ作動板の取付け

①戸の上部にエンドブレーキ作動板を差し込んでからガイドレールを取付けます。



②エンドブレーキ作動板の仮固定

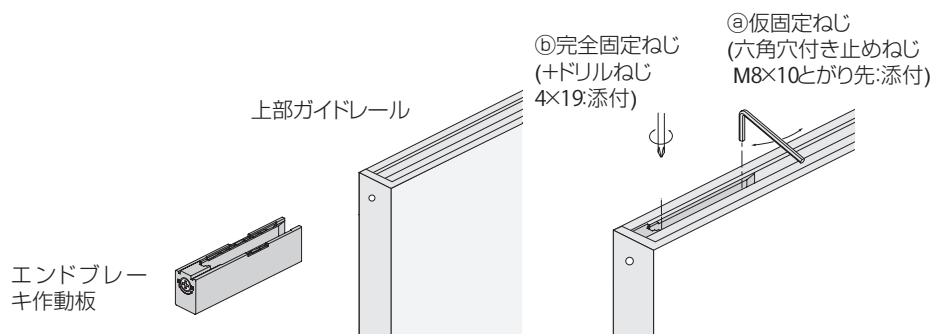
※六角レンチ(対辺4)が必要です。

- ・ 下記に示す方法で、戸を吊り込み、上部調整ガイドが当たる位置で②仮固定ねじ(六角穴付き止めねじM8×10とがり先)で仮固定します。

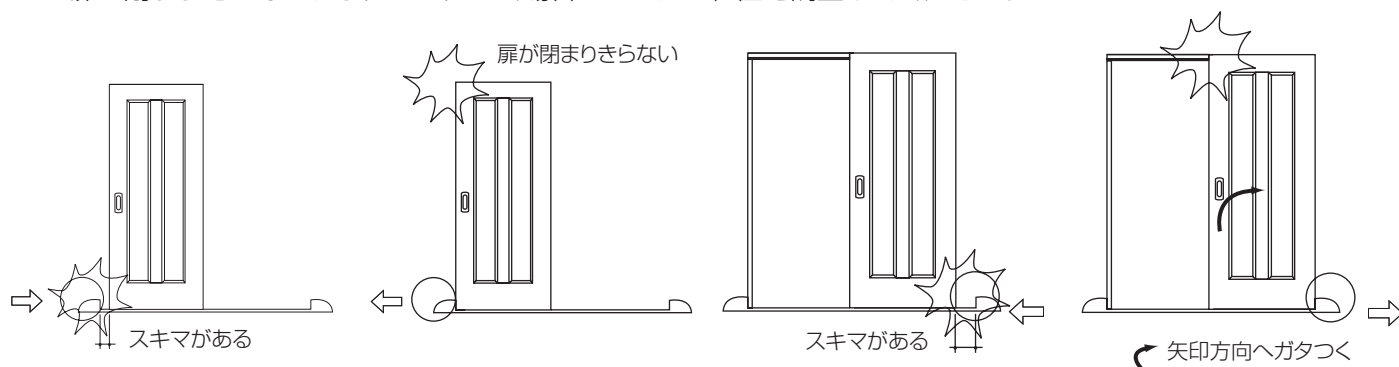
③エンドブレーキ作動板の完全固定

- ・ 次に③完全固定ねじ(+ドリルねじ4×19)で完全固定します。

※完全固定ねじを回すとき、ドライバーが天井面に当たってしまう場合は、いったん戸を外してください。



扉が閉まりきらない、またはがたつく場合はレールの位置を調整してください。



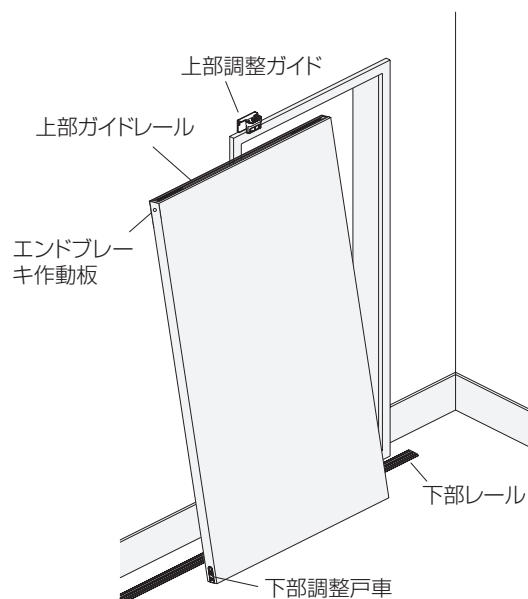
8 各部の調整

●戸の吊り込み

戸を下から差し込むようにして上部調整ガイドに上部ガイドレールを嵌合させ、下部レールに下部調整戸車を落とし込みます。



上部調整ガイドと下部ストッパーが同時に作用するようにしてください。



●戸の位置調整

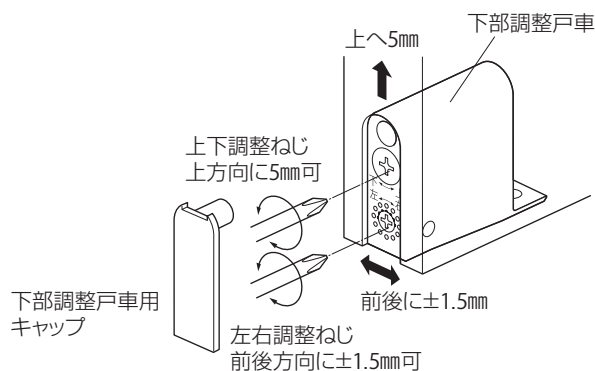
- ・戸が上がりすぎている、または下がりすぎている。
- ・戸と枠との間隔が大きすぎる、または小さすぎる。
- ・戸が左右、または前後に傾いている。

このような場合、下部調整戸車・上部調整ガイドで戸の位置を調整してください。

▽下部調整戸車の調整（上下・前後）

※ドライバーが必要です。

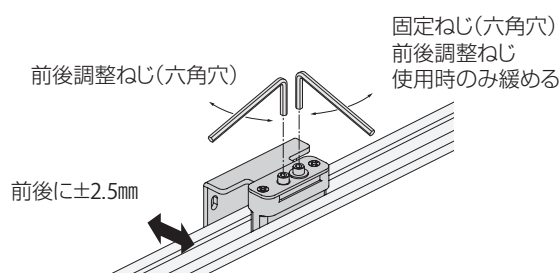
- ・調整は戸を吊り込んだ状態でできます。
- ・キャップがついている場合は外し、それぞれの調整ねじを右あるいは左に、所定の位置まで回してください。
- ・調整が終わったら最後にキャップを嵌めて完了です。



▽上部調整ガイドの調整（前後）

※六角レンチが必要です。

- ・調整は戸を吊り込んだ状態でできます。
- ・固定ねじを緩めてから前後調整ねじを右あるいは左に、所定の位置まで回してください。調整後、固定ねじをしっかりと締めて固定してください。

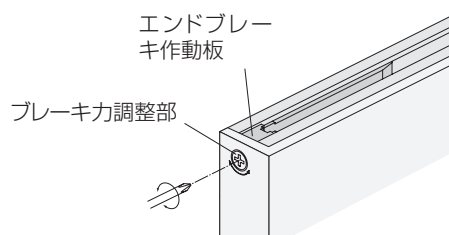


▽ブレーキ力の調整

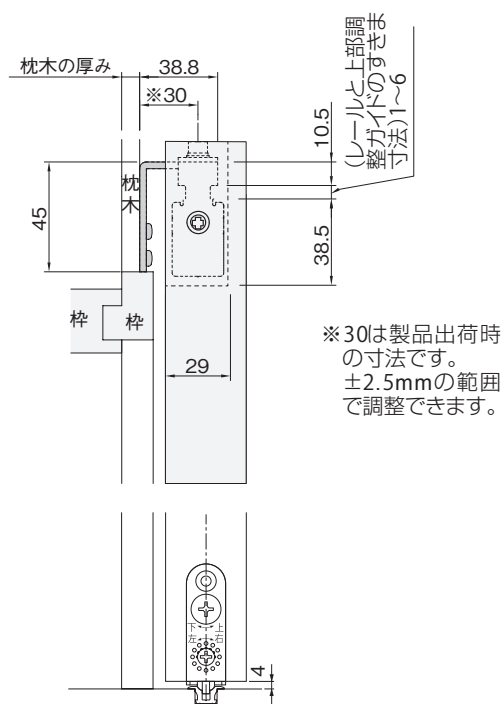
ブレーキが効き過ぎていたり、ゆる過ぎる場合

➡ブレーキ力調整をしてください

- ・エンドブレーキ作動板のブレーキ力調整部を回せば、ブレーキ力の調整ができます。



《金具の納まり参考図》



- 枠と戸とのすきま寸法Dの設定について
すきま寸法Dは5mm以上に設定してください。
- 上部調整ガイドの左右方向の取付位置について
戸を開けきった時、閉めきった時に確実に上ガイドがエンドブレーキ作動板につき当たるようにしてください。つき当たらないと、戸が脱落するおそれがあります。

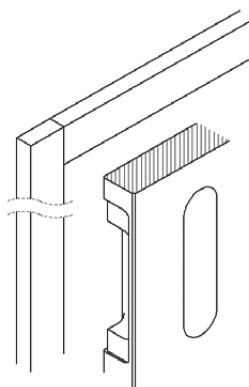


9 枠有錠付タイプの場合

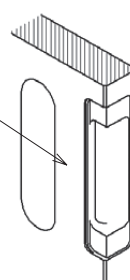
《扉の彫り込み確認》

引き手を取り付けてください。

取付方法は錠付セットに同梱の取付説明書も併せてご覧ください。



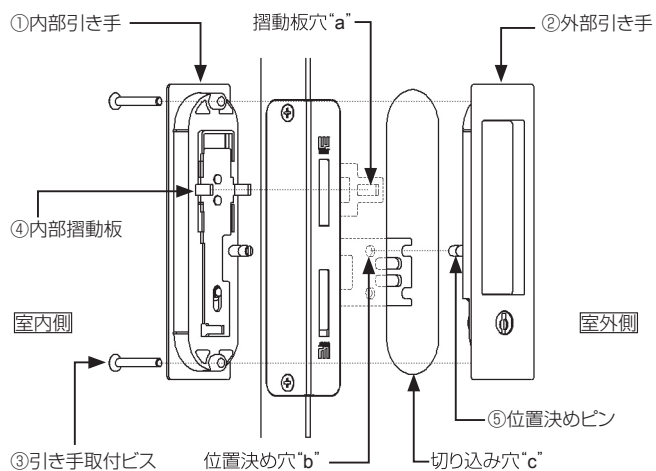
※扉の勝手により、切欠きの向きが異なります。フロントカバー用の切欠きが壁側にくるように扉が加工されていることをご確認ください。



《引き手の取り付け》

～ 引き手の取り付け方法 ～

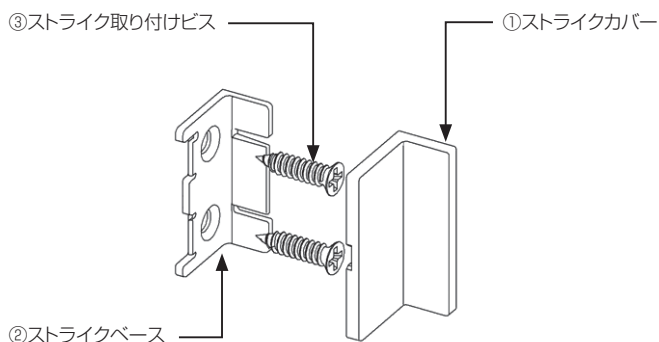
1. 内部摺動板④が摺動板穴“a”を貫通するように内部引き手①を扉の切り込み穴“c”にセットしてください。
2. 位置決めピン⑤が位置決め穴“b”を貫通するように外部引き手②をセットしてください。
3. 室内側より、取り付けビスにて固定し、正常作動するか確認してください。



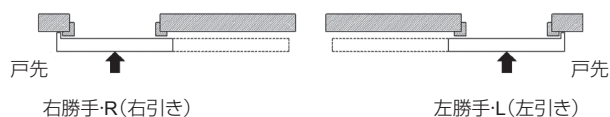
※本図は左勝手・L(左引き)とする。

～ 受の取り付け方法 ～

1. ストライクベース②の中心とデッドボルトの中心を合わせ、ストライク取付ビス③でストライクベース②を固定してください。
2. ストライクカバー①をストライクベース②にはめ込んでください。



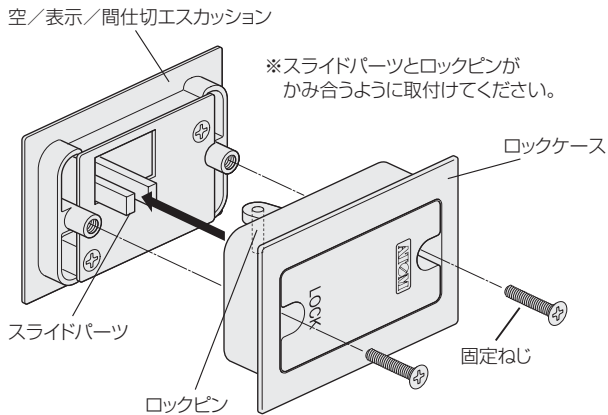
～ 左右の勝手について ～



10 枠無錠付タイプの場合

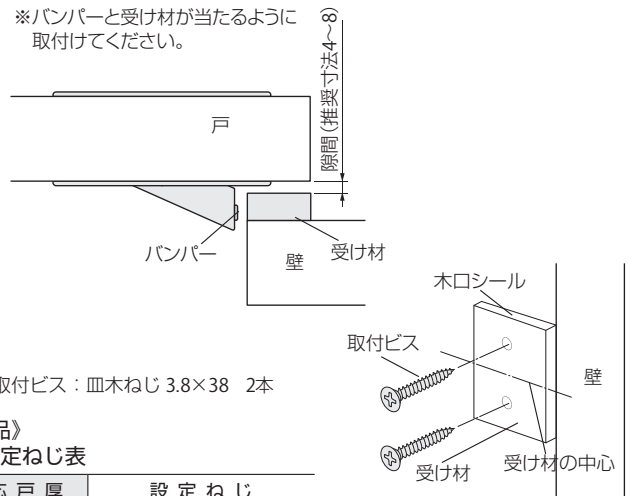
1. 本体の取付け

掘込加工穴に、室外側から空／表示／間仕切エスカッションを、室内側からロックケースを差込み、ねじ止めします。



2. ストライクの取付け

受け材の中心とロックケースの中心を合わせ、受け材取付ビスで壁端部に固定してください。



受け材取付ビス：皿木ねじ 3.8×38 2本

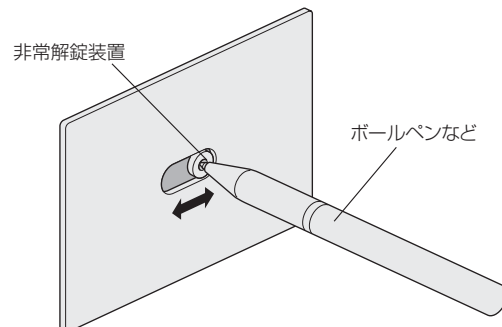
《添付品》 本体設定ねじ表

対応戸厚	設定ねじ
28～32mm	+皿小ねじM4×12 2本
32～35mm	+皿小ねじM4×16 2本
35～40mm	+皿小ねじM4×20 2本

- 必ず下地がある位置にビスを固定してください。
- 受け材には下穴をあけてください。
- 受け材の木口には木口シールを貼ってください。

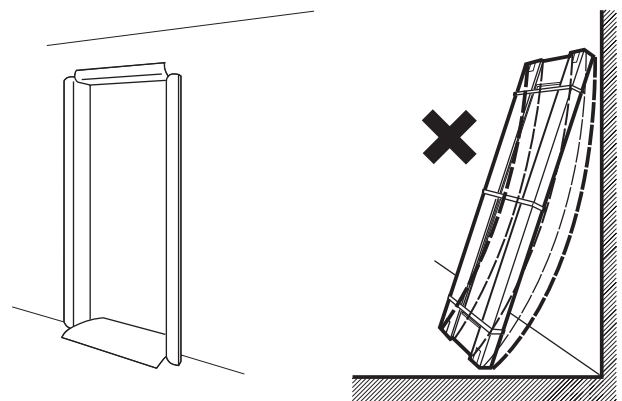
■非常時の室外側からの解錠方法（表示・間仕切の場合）

非常解錠装置の中央の穴部にはボールペンやクリップの先端などの細いものを差込んで横にスライドし、解錠してください。



11 養生

工事が完成するまで、扉・開口出隅・レールをダンボールなどで養生してください。
また工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

